

一 般 質 問

令和3年第1回（3月）定例会

通告順	議席番号	議員名	ページ
1	15番	山中敏正	2
2	6番	岩崎隆志	3
3	7番	保坂輝雄	4
4	14番	加藤ただし	6
5	19番	渡邊光子	7
6	11番	岡安政彦	9
7	3番	砂川和也	10
8	12番	相馬正人	11
9	1番	坂本敏治	12
10	2番	星野充生	14
11	4番	岡野千枝子	16
12	10番	新島光明	17
13	17番	佐藤洋	19
14	13番	浦田充	20
15	5番	北村あやこ	22
16	9番	にいつま 亮	24

質問方法は全議員とも複合式

※ 複合式とは、1回目の質問及び答弁はまとめて行うが、2回目以降は1項目ごとに一問一答で行う。質問時間は答弁も含め1時間以内とする。
(質問回数の制限なし)

15番 山中 敏正

1. 高齢者への支援について

- (1) 当市における2040年までの高齢者人口の推移について伺います。
- (2) 自分でごみを出せない方の現状について伺います。
- (3) 公共バスを利用できない高齢者の現状について伺います。
- (4) 上記の高齢者への支援について伺います。

2. 上尾道路の沿道サービス施設の取組について

- (1) 現在の一日の交通量について伺います。
- (2) 与野JCT（ジャンクション）から上尾南出入口までが2026年度、開業（予定）後の交通量の見込みについて伺います。
- (3) 片側2車線の整備予定について伺います。
- (4) 桶川から鴻巣までの整備について伺います。
- (5) 沿道型サービス施設の問合せについて伺います。

3. ふるさと納税について

- (1) ふるさと納税における桶川市の取組について伺います。
- (2) 年度におけるふるさと納税の寄附受入額と市民税影響額の5年間の推移を伺います。（資料をお願いします）
- (3) ふるさと納税と地方交付税の関係について伺います。
- (4) 一年を通して、寄附月の傾向について伺います。
- (5) 返礼品の内容について伺います。

6 番 岩崎 隆志

1. 新たな防災・減災へ 気候変動に対応するため、補助金を活用した本市事業について
 - (1) 防災・減災のため、これまで取り組んできた事業について
 - (2) 補助金の活用状況について
 - (3) 今後、取り組む予定の事業と補助金等の活用について

2. 防災拠点としての道の駅整備について
 - (1) 用地取得が完了したことは伺っていますが、経過も含め用地取得の総括について伺う。
 - (2) 令和2年度の進捗について伺う。
 - (3) 開業時期について伺う。
 - (4) 整備に時間を要している理由について伺う。
 - (5) 防災拠点としての道の駅整備の考えと具体策について伺う。

3. 統合失調症の方が人生の希望を取り戻し、その人らしい暮らしをするために
 - (1) 地域で暮らす統合失調症の方が、治療中断や拙速な社会復帰にならないためのみならず、失われた生活能力や人生の希望を取り戻し、その人らしい暮らしができるために
 - ① 適切な生活能力の把握のために、本市が用いている手法やマニュアルについて伺う。
 - ② 治療中断を防ぐための策について伺う。
 - ③ 拙速な社会復帰にならないための策について伺う。
 - ④ その人らしい暮らしにつなげるための策について伺う。

4. 誰が見ても支援が必要なにもかかわらず、介護の支援等を拒否する方をどう適切な支援につなげるか。
 - (1) 支援を拒否する理由について、どのように理解されているか伺う。
 - (2) 行政の保健福祉専門職等の精神的負担の軽減策を伺う。
 - (3) 適切な支援へどのようにつなげるか伺う。

7番 保坂 輝雄

1. 新型コロナワクチン接種について

(1) ワクチン接種対象者について

- ① ワクチン接種対象者の優先順位について、お伺いします。
- ② 優先順位ごとの対象者の把握方法とその対象者にどのように通知するのか、お伺いします。

(2) ワクチン接種の体制について

- ① 接種会場、医療スタッフの配置等、接種の体制について、具体的にご説明ください。
- ② 地元医師会との連携をどのように行うのか、お伺いします。
- ③ ワクチンは2回接種が原則であると思いますが、1回目から2回目までの流れと市としての把握方法について、お伺いします。

2. 保育所および放課後児童クラブの待機児童解消について

(1) 保育所の現況と課題について

- ① 来年度の保育所別（公営および民営）の年齢別定員数、申込数および待機児童数の見込みについて、お伺いします。（資料配付）
- ② コロナ禍における保育所の現状と課題について、お伺いします。

(2) 放課後児童クラブの現況と課題について

- ① 来年度の学校別（民間も含む）の放課後児童クラブの定員数、申込数および待機児童数の見込みについて、お伺いします。（資料配付）
- ② コロナ禍における放課後児童クラブの現状と課題について、お伺いします。

(3) 放課後子供教室の現状と方向性について

- ① コロナ禍における放課後子供教室の現状について、お伺いします。
- ② 放課後子供教室と放課後児童クラブの統合の方向性について、お伺いします。

3. ペーパーレス化の推進について

(1) 桶川市のペーパーレス化について

- ① これまで、桶川市としてペーパーレス化にどのように取り組んできたのか、お伺いします。
- ② 今後、桶川市としてペーパーレス化にどのように取り組んでいくおつもりなのか、お伺いします。

(2) 議会との連携について

- ① 執行部もタブレットを導入して、議会の場で情報の共有化を図ることを提案いたしますが、本市の見解をお伺いします。
- ② 執行部がタブレットを導入する際の課題について、お伺いします。

14番 加藤 ただし

1. これからの50年を見据えた「3期目の取組」について（市長に伺う）
 - (1) 「持続可能なまちづくり」について
 - (2) 「人口減少への対応」について
 - (3) 「行財政経営」について

2. これからの50年を見据えた「都市計画の見直し」について
 - (1) 都市計画法及び建築基準法改正により田園住居地域が追加されたが、都市にあるべき都市農地について
 - (2) 田園住居地域の指定による農と住の調和したまちづくりについて
 - (3) 用途地域変更のスキームについて
 - (4) 生産緑地の扱いについて

19番 渡邊 光子

1. 都市公園・平和祈念館について

- (1) 「城山公園・平和祈念館に予備のトイレトペーパーの設置がなくて困った」という声が届きました。常時、予備を含みトイレトペーパーの設置を伺います。
- (2) 1月26日に都市公園内で男性の自殺者がありました。過去にもこの同じ場所で自殺者があり、この都市公園では過去9年間で4人目とこのことです。都市公園全体では過去9年間で今回も含めると7人の自殺者があったそうです。「自殺防止を考えてほしい」という相談がありました。街灯を多く整備する。また、散歩の人を明るく、楽しく、暖かくさせる標語や絵を加えた看板や警察官巡回中の看板等の設置など、更に遊具を楽しくさせる塗装の整備など自殺防止対策を工夫してはいかがでしょうか。
- (3) 実施中の自殺防止対策を伺います。

2. 中学校の修学旅行中止によるキャンセル料について

この度の新型コロナウイルスに影響した、中学校の修学旅行中止による旅行会社等へのキャンセル料について伺います。

- (1) 各中学校に発生したキャンセル料を伺います。
- (2) その処置はどうしたのか伺います。
- (3) 台風や地震、この度の新型コロナウイルス等に対応したキャンセル料が発生しないように、特約の付加の必要性を伺います。

3. 災害対策について（4回目）

災害は時を選びません。非常時に備えた対策が求められます。弱者の避難について先の議会で「一人で避難するのが難しい方は、非常時の避難に備えて、事前に届け出をしておく」等の答弁があり、そこで伺います。

- (1) 受付課と、現在の届出者の人数を伺います。
- (2) 避難を必要とした事態の対応を伺います。
- (3) 町内会等との関わりを伺います。

4. AEDのコンビニ設置について

- (1) 市民の方々の周知度を伺います。
- (2) コンビニ店の「AED設置の市民の方への周知方法」を伺います。
- (3) これまでに、使用されたことがあるのか。

5. コンビニ店への広報設置について

- (1) 市民の方々の周知度を伺います。
- (2) コンビニ店の「広報設置の市民の方々への周知方法」を伺います。
- (3) コンビニ店には、どのような形で広報を届けているのか伺います。

1 1 番 岡安 政彦

1. 災害時の情報伝達について

- (1) 情報発信の考えについて伺う。
- (2) デジタル防災行政無線の活用について伺う。
- (3) 電話一斉送信システムの活用について伺う。
- (4) 障がい者への情報伝達について伺う。

2. ごみ処理行政について

- (1) ごみの量の現状について伺う。
- (2) 他団体のごみの受け入れの現状について伺う。
- (3) ごみ処理広域化の現状について伺う。

3番 砂川 和也

1. 市内循環バスについて

- (1) 各ルートの利用状況について伺います。(過去と比較した資料要求)
- (2) 見直し後の各ルートの反響について伺います。
- (3) 本格運行へのスケジュールについて伺います。
- (4) 今後の展開について伺います。

2. 農地調査について

- (1) 実施している農地調査について伺います。(資料要求)
- (2) 調査データの活用について伺います。
- (3) 調査データの分析からわかる課題について伺います。

3. ウォーキングについて

- (1) ウォーキングの健康増進効果について伺います。
- (2) 市民への効果の周知について伺います。
- (3) ウォーキングマップの活用について伺います。

12番 相馬 正人

1. 市役所業務の効率化について
 - (1) AI及びRPAの導入
 - (2) テレワークの導入
 - (3) 非接触型行政サービスの提供

1 番 坂本 敏治

1. 本市の課題の取組について市長の考えを伺う

(1) 市民生活向上のための課題解決に向けて

- ① ごみ処理施設の整備は、ごみ減量の課題とリンクさせるなど市独自の意思で運営できる市単独の施設整備をとの声についてはどうでしょうか。
- ② 市役所業務のデジタル化で市役所業務をどのように変化させるのですか。
- ③ 医療体制の充実のニーズが高まっていますが、桶川に病院を誘致する目標年次、方策についてはいかがでしょうか。
- ④ 市役所業務を民間に任せすぎではないかとの声についてはいかがですか。

2. 新型コロナウイルス感染症対策について伺う

(1) 陽性者増加の中での市の対応について

- ① 市の施設での陽性者判明で、市はどのように対応したのでしょうか。
- ② 保健所から市に対して要請されている事柄は何かありますか。

(2) 支援策は市民に届いているか

- ① 安心宣言事業者応援事業で、支援できた事業者は何件ですか。
- ② 中小企業相談申請支援事業で、相談受付できた件数は何件ですか。

(3) ワクチン接種について

- ① ワクチン接種対策担当が設置されましたが、日常業務へ兼ね合いはどのようになりますか。
- ② ワクチン接種の実施計画はどうなっていますか。

3. 「道の駅」整備事業について伺う

(1) 整備事業の推進状況について

- ① 事業者選定等支援委託事業のコロナ禍での計画変更はどうなりますか。
- ② 2019年の台風19号の水害経験を踏まえ、整備予定地の水害対策の見直しは必要ではないですか。防災機能を持たせることは適切ですか。

(2) 魅力ある道の駅に向けた取組について

- ① 地域連携機能を位置づける農業・商工業振興は早急に取り組まないとならない課題ではないですか。
- ② 体験型の事業などを農業センター、生涯学習センター等の既存施設を活用して早急に開始すべきではないですか。

2番 星野 充生

1. 35人学級について

- (1) 次年度の小中学校のクラス編成の予定を伺う。
- (2) 今後の35人編成の計画と当面の課題は。
- (3) 教員のなり手不足の解消も課題点。
 - ① 市内小中学校の教育実習生の受け入れ状況過去3年の推移
 - ② そこから見える問題点及び対策について市の見解を問う。

2. DV、児童虐待等対策について

- (1) 警察庁は2月4日、2020年の犯罪情勢統計（暫定値）を公表した。警察に寄せられた配偶者などパートナーからの暴力（DV）の相談と、虐待の疑いで警察が児童相談所に通告した子どもの数がともに過去最多となった。
 - ① 市内のDVの相談件数及び児童虐待の通告件数と前年との比較
 - ② 児童虐待の通告内容の内訳
 - ③ コロナ禍によるストレスも一因としてあげられる。関係性について市の見解を問う。
 - ④ 過去の悲しい事件を忘れぬよう、日々業務の改善を図っていかなくてはならない。事件を機に児童虐待対策はどこが変わり、目に見える改善は見られたか。また、コロナ禍を通じてこれからどう対応していくのか。
- (2) 文部科学省が厚生労働省と警察庁の統計をもとにまとめたところ、去年1年間で自殺した児童生徒の数は前年より増え、過去最高となったとのこと。特徴として、5月以降は毎月前年を上回り、女子の増加率が高い。
 - ① 未然防止のためにSOS発信の体制強化が求められるが、市の現状を問う。
- (3) コロナ禍による休校の影響で10代の妊娠の相談が増えたとの支援団体等からの報告もある。
 - ① 市内で10代の妊娠相談はあったか、その場合、どのような対応がとられたか状況を問う。

3. ジェンダー平等に向けた学校のありかた

桶川市は2月に「パートナーシップ宣誓制度」を導入した。互いに人権を尊重し、多様な生き方を認め合いながら、誰もが暮らしやすい社会の実現を目指すために、今後の学校内における指導について問う。

(1) 新座市の中学校でスラックスとスカートを自由に選択できる制度を導入した。性別の縛りをなくした形で制服に選択肢を設ける学校が増えている。

- ① 制服について、市内中学校の現状と今後の計画について問う。
- ② 国会で萩生田文部科学大臣は「校則の内容については学校を取り巻く環境や児童生徒の状況の変化に応じて、絶えず積極的に見直す必要がある」と発言。昨今の情勢と照らし合わせて不具合のある校則は見られるのか。

(2) 2(3)のように10代の妊娠が増える状況が見られる中、従来の学校の性教育について疑問が持たれている。

- ① 市内中学校の性教育の現状を問う。

4番 岡野 千枝子

1. 西側区画整理地区について

(1) 下日出谷東地区、上日出谷南地区について

- ① 事業の進捗状況について伺う。
- ② 都市計画道路愛宕東線の今後の予定を伺う。
- ③ 下日出谷東の地区外の状況と今後の対応について伺う。

(2) 通学区の見直しについて伺う。

- ① 見直しスケジュールについて伺う。
- ② 見直しにあたって検討している点について伺う。

(3) 自治会の区分けについて伺う。

- ① 地域からの意見について伺う。
- ② 意見集約について伺う。

2. 桶川市障害者計画・障害福祉計画について

(1) 現在の進捗状況について伺う。

(2) 国の障害者計画・障害福祉計画の動向について伺う。

(3) 前計画との変更点について伺う。

10番 新島 光明

1. 西小学校における新型コロナ感染拡大時の対応について

- (1) 2月16日に西小学校における新型コロナ感染症対策の教育委員会としての対応状況を見ましたが、感染状況及び保護者や関係機関への情報提供がありません。その点を含めた状況を時系列的にお示してください。
(資料)
- (2) 2月1日付保護者宛てお知らせでは「本校職員から感染が確認～(中略)～保健所の指導のもと濃厚接触者はいないと判断。よって通常通り授業」とのことです。翌2日夕方での議員への通知では「職員と児童各2名に感染が確認された」との内容で、その中で「保健所の指導のもと濃厚接触者はいないと判断されたが念のためPCR検査を実施するよう指示があり～」となっていました。同じ通知の中で「保健所は感染者はいない」と断言する中で、一方の通知では「保健所の指示でPCR検査を実施する」とあります。保健所の判断に何があったのでしょうか。伺います。
- (3) 濃厚接触者が特定されていない中でも、結果的に関係クラス全員のPCR検査を行いました。このことからすると同様に、感染が明らかになった児童の中に、放課後児童クラブに直前まで通っていた児童もいたとすると、濃厚接触者となっている可能性は高いと思います。濃厚接触者は明らかでないにしても、クラス全員の検査を行った理由と同様に、クラブ全児童・指導員の検査を行うべきであったと思います。クラブ関係者のPCR検査を行わなかった理由・背景を伺います。
- (4) 2月1日に、最初の感染者確認。2月2日夕方に、職員・児童各2人に感染確認。2月3日PCR検査実施。同日別のクラス児童に感染確認。2月4日に同クラスのPCR検査実施。同日2月3日実施のPCR検査結果が出る。10数名の感染確認、という経過があったと認識しています。この動きを見ると、保健所の当初の「濃厚接触者はいない」との判断があまりにも安易すぎたのではないかと思います。保健所はこの結果の事実をどのように思われていたのか分かりましたら伺います。
- (5) 発信部署が違うことから仕方ないとの見方もありますが、この間の西小保護者全体への事実の公表が後手後手で、結果的にそれが不安感を拡大させた原因と思われる。教育委員会はこの点をどのようにお考えであったのか。伺います。

2. 新型コロナに感染して自宅療養となった方への市独自の支援について
 - (1) 埼玉県独自の自宅療養者への支援策を伺います。
 - (2) 埼玉県内でもいち早く川島町が独自の「自宅療養者支援事業」を実施しました。感染の拡大が収まりつつあるとの見方がありますが、医療のひっ迫度はまだまだ油断できないとの見方もあることから、今後も自宅療養は続くと思います。そこで市民の命は平等であるとの観点から市として独自の支援策を実施することについて伺います。

3. 農業政策について
 - (1) 道の駅のオープンに向けたスケジュール等も明らかになりつつある中で、当初の道の駅構想での「農業振興」に向けた桶川市の動きが見えません。改めて、農業振興サイドだけのこの間の動きを伺います。（資料）
 - (2) 桶川北本インター周辺開発にあわせて
桶川北本インター周辺への企業誘致は小野市政の中でも重要課題の一つと思います。この事業の大きな課題は、関係地権者の合意と共に20ヘクタールという農振地域の大規模開発の上では、桶川市の今後の農業振興の考え方が問われ、その考え方いかんによっては県の認可が下りないことも考えられます。そこで、インター周辺開発に向けての市の農業振興政策をどのようにお考えなのか伺います。

17番 佐藤 洋

1. ごみ（燃やせる）問題について

(1) ごみ問題をどのように捉えているか。

- ① 環境問題
- ② コミュニティの推進
- ③ 経済的な面

(2) 広域処理の場合、どのような組合せが考えられるか。

- ① 単独は考えられるか。
- ② 県央、埼玉中部環境保全組合、上尾、伊奈、その他

(3) 単なる焼却施設の建設から市民参加の下「総ぐるみ運動」の展開は。

- ① 運動の推進本部の立ち上げ
- ② 市民が主体の「減量」運動の立ち上げ

13番 浦田 充

1. 国連サミットで採択された持続可能な開発目標（SDGs）の中の「住み続けられるまちづくりを」の観点から伺う。

(1) 避難行動要支援者への災害等発生時の支援について

① 避難行動要支援者の個別計画について

ア. 本年1月末までの提出率と未提出者への提出促進に向けて、どのような取組を行っていくか伺う。

イ. 冷暖房等特別の設備を必要とする避難行動要支援者は、個別計画の中で冷暖房等の整った避難先を記載できているのか。

② 避難所について

ア. 避難行動要支援者等の福祉避難所への直接避難についての見解を伺う。

イ. 避難所としての学校体育館への冷房整備の方向性を市長に伺う。

2. 桶川駅周辺整備について

(1) マイン連絡橋バリアフリー化について

① スロープ整備に向けて、国や県の補助金はどのようなものがあり、その金額はいくらか。

② 桶川市独自の補助金の設定についての見解を市長に伺う。

③ 川越市のデッキ屋根のヒアリングはできたのか、設置の方向性は見えたのか。

(2) 東口整備について

① 一番近い多機能トイレを含む、公共トイレはどこか。場所と駅からの距離を伺う。

② いつ東口に公共トイレが設置されるか。具体的見通しを端的にご答弁ください。

(3) 駅西口公園について

① 自転車通行禁止のバリケードが複数箇所であり景観が悪だけでなく、車椅子、ベビーカー等の通行に支障をきたしている。なんのためかバリケードなのかを考え、他の抑止方法に改めるべきだが、いかがか。

3. 学校での感染症対応について

(1) 西小での多数のコロナ感染者判明について

- ① 現状と経過、判明している感染経路の報告と説明をお願いします。
- ② 休校決定は、どのような判断基準によるものか。
- ③ 情報提供が少なく、不満や不安を抱えている地域、住民が多い。
どのような基準で情報を出しているのか。変異株のように噂が大きくなってから否定するのでは遅い。

5番 北村 あやこ

1. 市長の政治姿勢について

(1) 12月議会、市長選挙に立候補の意思を表明したが、市政を運営していく上での姿勢、哲学が見えない。答弁もやたら長く意味不明になりがちだが、簡潔な答弁を求め市長に伺う。

- ① 遵法精神についてどう考えているか。
- ② 職員の職場環境改善とセクハラ、パワハラをなくすにはどうしたらよいか。
- ③ 大型事業には、多額の税の支出を伴うが、今後の桶川市はごみの問題も含め極めて厳しい状況にある。道の駅は何のために整備するのか、そのための財政出動の規範を伺いたい。

2. 医療政策と病院について

(1) 緊急事態における県内及び県央地域の医療崩壊の危機について、以下資料を基に説明を求める。

- ① 患者数、重傷者数、ベッドの充足数、利用率、自宅待機者の数の推移を週間ごとに
- ② 陽性者の年齢別、職業別一覧も①と同様に
- ③ 今後の病院のベット数についての考え方と、方針。(300字程度)

(2) 病院誘致について

- ① 桶川にとって、喫緊の課題と思うが、その認識と取組を伺いたい。(300字程度)

3. 入札・契約について

(1) 随意契約の合計額、約17億円について

- ① 前議会で答弁した内訳を課ごと、不用額を含めて一覧表で提出いただきたい。
- ② 統一されない見積依頼書など、他を含め課題を伺いたい。

(2) 疑惑や違法が蔓延している状況の改善について

- ① 仕様書の作成、旧飛行学校整備のような入札条件のチェック、随意契約のチェックは誰が責任者なのか。
- ② 未公表の随意契約、総合評価、プロポーザルの公表していない件を過去5年間一覧表で提出し、未公表の責任を求める。

4. 旧飛行学校整備工事について

(1) 反省と今後の方針について

① 仕様書、設計書、竣工図などとの照合で一致しない部分が出ているが、その見解

(2) 防腐・防蟻と維持管理について

① 防腐薬剤を変更した同等品の確認はどのようにしたのか。

② 木造建造物の文化財は、防腐・防蟻と維持管理が重要だが、今後の方針・体制を伺う。

9番 にいつま 亮

1. いじめ・不登校の対策について

(1) いじめ・不登校の現況について

- ① いじめの発生件数と種類について伺う。(令和2年度内で把握している件数)
- ② 不登校の件数と種類について伺う。(令和2年度内で把握している件数)

(2) いじめ・不登校の対応について

- ① コロナ前・後のいじめ問題に対しての教育委員会及び学校の取組について変化があれば伺う。
- ② コロナ前・後の不登校児の対策について、教育委員会及び学校の取組について変化があれば伺う。(WEBでの相談を含め、そういった事例があったか)

(3) 相談体制について

- ① コロナ前・後での相談件数の変化について伺う。
- ② WEBやLINEを活用した相談ツールについて市の見解を伺う。(WEB相談・LINEでの相談など)
- ③ 不登校児に対する進路指導の対策、義務教育課程修了後の対応について伺う。

2. こども食堂など、子ども、中高生の居場所づくりについて

(1) 学校施設や社会教育施設や児童館、青少年教育施設等地域資源の開放について

- ① 小学生が利用できる施設の種類と数、コロナ前後の利用状況について
- ② 中高生が利用できる施設の種類と数、コロナ前後の利用状況について

(2) 居場所づくりに取り組んでいるコロナ後の実践事例について

- ① 行政の取組について
- ② 社会教育施設や児童館における事例について
- ③ NPOや地域ボランティア等との連携事例について